

第30回北海道柔道整復専門学校卒業教育講演会

平成28年2月14日（日）北整会館4階大講堂において北海道柔道整復専門学校卒業教育講演会が開催されました。開講式で萩原正和校主は第30回を迎えた卒業教育講演会の経緯について説明された後、このような講演会は全国的にも少なくともとても素晴らしいことであり卒業生は誇りをもって業務に励んでいただきたいと挨拶されました。

講演1「柔道整復師の現状・未来へ繋げるために」

（公社）北海道柔道整復師会副会長 加藤 隆先生



はじめに柔道整復師業界の現状として柔道整復師の数と分類比率、申請書の件数・1件当たりの単価、柔整療養費増減推移など、続いて業界内の格差（意識・経営）では柔整療養費の減少、学校乱立による資格者の急増、違反広告事例など、さらに柔道整復師業界の未来（課題）では北整における今後の取り組み、卒業臨床研修、SSH（整骨・接骨北海道フレンズ）によるボランティア活動、また日整からの要望として療養費・介護対策関係や養成・教育関係など説明され、結語として会員や研修員が同じ価値観・方向性をもって「学ぶ・参加・協力」することが柔道整復師の未来へ繋ぐために必要であると述べられました。

講演2「呼吸の話」

日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科教授
北海道柔道整復専門学校講師 高橋 光彦先生

はじめに呼吸器疾患として閉塞性換気障害（1秒率が70%以下）である慢性閉塞性肺疾患 COPD・びまん性汎細気管支炎・気管支喘息について、さらに拘束性換気障害（肺活量が80%以下）である間質性肺炎・肺繊維症・塵肺症などについて説明され、続いて呼吸障害に対するリハビリテーションでは対象疾患とその方法であるリラクレーション肢位、呼吸訓練（運動）・排痰法について、さらにその内容と効果を説明されました。



講演3 「心臓と血管のお話」

社会医療法人社団カレスサッポロ時計台記念病院
循環器センター医長 丹 通直先生



はじめに生活習慣病の呼び名の意味づけとその範囲などについて、続いて疾患では肥満症のタイプ、糖尿病の合併症と神経障害症状、高脂血症ではコレステロールとHDL・LDL、心筋梗塞、メタボリックシンドロームなどの内容について説明され、さらに動脈硬化の病変の診断と治療ではメカニズム・症状・検査、また治療ではカテーテル手術では動画を用いて説明されました。

講演会終了後、同会場にて懇親会が開催され参加者は教員や同期生達と近況報告など交わしました。

広報員 高山 訓正



萩原正和校主

